

地域景況レポート

2023年「令和5年度第3期(10月～12月期)」

とっかけ

“春の訪れも間近
可憐な黄色の花びらが心の安らぎに”



▲群生地に咲いている福寿草

◀住所=いわき市三和町下三坂入合地内

福寿草の里

新春を告げる花 福寿草（フクジュソウ）。花言葉は、「幸せを招く」、「永久の幸福」。和名は、幸福と長寿を意味しており、旧正月の頃に花を咲かせることから、元日草（ガンジツソウ）、朔日草（ツイタチソウ）とも呼ばれています。

三和町下三坂地区は、市内有数の福寿草群生地として知られており、「福寿草の里」と呼ばれ、複数の個人宅が協力して育てています。毎年12月末頃に日当たりの良い南向きの斜面から順次開花し、3月上旬まで黄金色の可憐な花を楽しむことができます。

また、三和町中心部に位置する上市萱や下市萱地区でも旧道沿いを中心に咲いており、市民の心の安らぎになっています。

※写真提供=いわき観光まちづくりビューロー

目次

- 表紙 “春の訪れも間近、可憐な黄色の花びらが心の安らぎに”
- 1～5 中小企業景気動向調査の集計結果
特別調査「2024年（令和6年）の経営見通し」
- 6 企業紹介「エーデックス（株）」
- 7 市内の観光歴史めぐり：甲塚古墳／向日葵



街の応援団・町のパートナー

ひまわり信用金庫



中小企業景気動向調査の集計結果

[調査対象企業数 400社]
 [回答企業数 395社]
 [回収率 98.7%]

景気動向調査回答企業

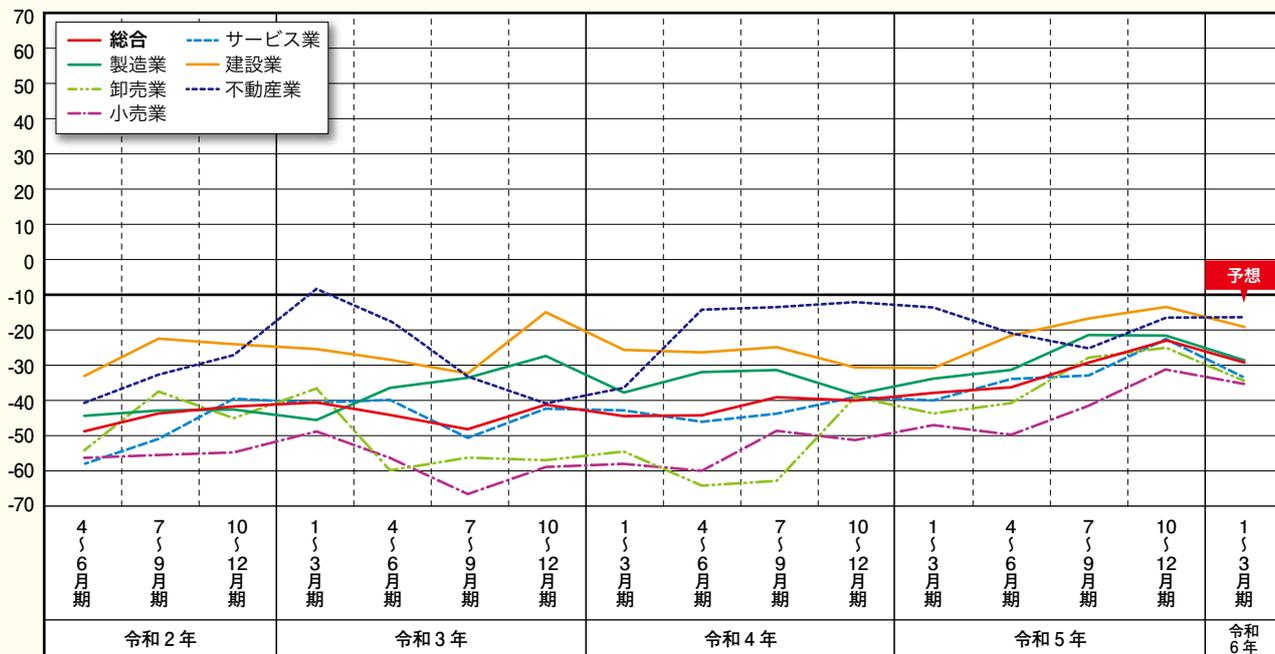
(先)

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	計
平・内郷方部 (本店・四倉・豊間・内郷・平窪・好間・中央台支店の地域)	28	15	48	31	25	10	157
小名浜・常磐方部 (小名浜・泉・湯本・遠野・鹿島支店の地域)	30	13	36	25	27	9	140
勿来方部 (植田・錦・勿来・中岡支店の地域)	21	4	32	20	16	5	98
合計	79	32	116	76	68	24	395

概況

業況は全体で改善、先行きについては悪化する見通し

令和5年10月～12月期の自企業の業況DIを前回調査（令和5年7月～9月期）と比較すると、いわき市全域で「悪化」超23.3%と6.2ポイント悪化超幅が縮小した。前回調査時の「今期予想」では「悪化」超を27.0%とみていたので、予想よりも3.7ポイント悪化超幅が縮小した。地域別では、3方部すべてで、悪化超幅が縮小し、平・内郷方部は「悪化」超10.9%と6.8ポイント悪化超幅が縮小、小名浜・常磐方部は「悪化」超29.3%と4.5ポイント悪化超幅が縮小、勿来方部は「悪化」超34.7%と7.6ポイント悪化超幅が縮小した。先行き（令和6年1月～3月期）は、いわき市全域で「悪化」超29.9%と、悪化超幅の拡大が見込まれている。



自企業の業況

※ DI (Diffusion Index) 値とは

景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値。「とっかけ」もDI値を使用しています。

業種別・地域別業況

製造業を除く業種で改善が見られ、業種全体では改善。先行きは業種全体で悪化する見通し

前回調査（令和5年7月～9月期）と今回調査（令和5年10月～12月期）を業種別にみると、卸売業は「悪化」超25.0%と悪化超幅が3.1ポイント縮小、小売業は「悪化」超31.0%と悪化超幅が10.7ポイントと大幅に縮小、サービス業は「悪化」超23.7%と悪化超幅が9.2ポイントと縮小、建設業は「悪化」超13.2%と悪化超幅が3.0ポイント縮小、不動産業は「悪化」超16.7%と悪化超幅が8.3ポイント縮小した。製造業は前回調査と同数の「悪化」超21.5%となった。

先行き（令和6年1月～3月期）は、不動産業は今回調査と同数の悪化超幅で、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業は悪化超幅が拡大することから、業種全体では「悪化」超29.9%と、悪化超幅の拡大が見込まれている。

業種別の業況

() は前回調査時の今期予想 [単位:%]

業種別	令和5年7月～9月期	令和5年10月～12月期	令和6年1月～3月期(予想)
総合	▲29.5	▲23.3(▲27.0)	▲29.9
製造業	▲21.5	▲21.5(▲26.6)	▲29.1
卸売業	▲28.1	▲25.0(▲21.9)	▲34.4
小売業	▲41.7	▲31.0(▲40.9)	▲35.3
サービス業	▲32.9	▲23.7(▲32.9)	▲34.2
建設業	▲16.2	▲13.2(▲1.5)	▲19.1
不動産業	▲25.0	▲16.7(▲20.8)	▲16.7

地域別の業況 [方部別の推移]

[単位:%]

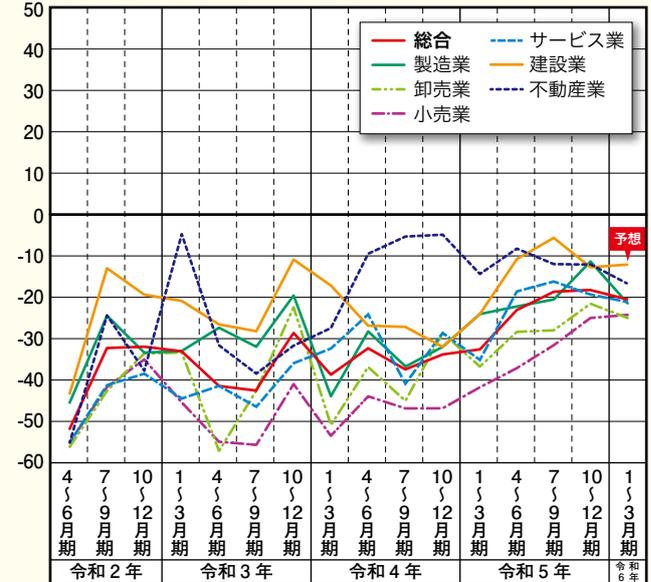
方部別	令和5年7月～9月期	令和5年10月～12月期	令和6年1月～3月期(予想)
いわき市全域	▲29.5	▲23.3	▲29.9
平・内郷方部 (本店・四倉・豊間・内郷・平窪・好間・中央支店の地域)	▲17.7	▲10.9	▲15.9
小名浜・常磐方部 (小名浜・泉・湯本・遠野・鹿島支店の地域)	▲33.8	▲29.3	▲37.1
勿来方部 (植田・錦・勿来・中岡支店の地域)	▲42.3	▲34.7	▲41.8

※▲は「悪化」超

▶▶ 売上額

売上額は、前回調査（令和5年7月～9月期）の「減少」超18.6%に対し、今回調査（令和5年10月～12月期）では、「減少」超18.2%と0.4ポイント減少超幅が縮小した。また、先行き（令和6年1月～3月期）は、「減少」超20.5%と、売上額の減少を見込まれている企業がわずかに増加している。

売上額の業種別 DI の推移



▶▶ 受注残

製造業は、前回調査（令和5年7月～9月期）の「減少」超17.7%に対し、今回調査（令和5年10月～12月期）では、「減少」超13.9%と3.8ポイント減少超幅が縮小した。先行き（令和6年1月～3月期）は、「減少」超19.0%と、受注残の減少を見込まれている企業が増加している。

建設業は、前回調査（令和5年7月～9月期）の「減少」超1.5%に対し、今回調査（令和5年10月～12月期）では、「減少」超10.3%と8.8ポイント減少超幅が拡大した。先行き（令和6年1月～3月期）は、「減少」超8.8%と、受注残の減少を見込まれている企業がわずかに減少している。

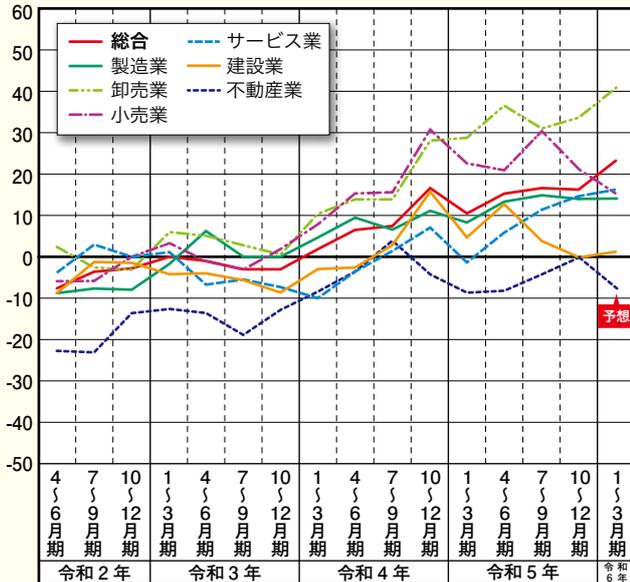
▶▶ 施工高

建設業における施工高は、前回調査（令和5年7月～9月期）の「減少」超5.9%に対し、今回調査（令和5年10月～12月期）では、「減少」超7.4%と1.5ポイント減少超幅が拡大した。

先行き（令和6年1月～3月期）は、「減少」超10.3%と施工高の減少を見込まれている企業がわずかに増加している。

▶ 販売・請負価格

販売・請負価格の業種別 DI の推移



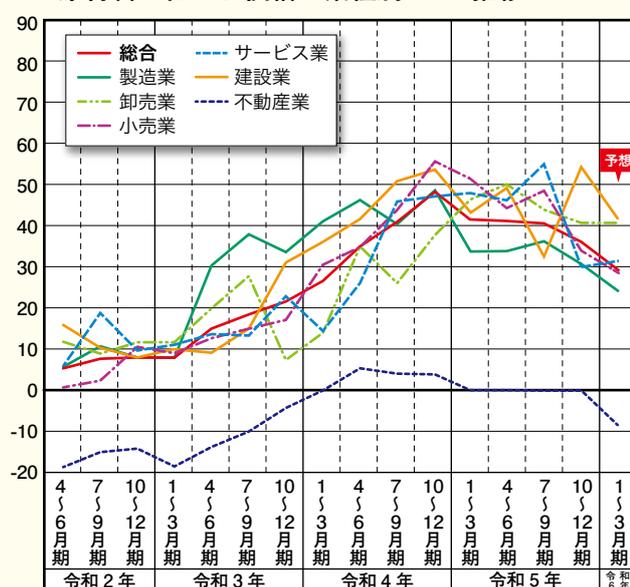
販売・請負価格は、業種全体で前回調査（令和5年7月～9月期）の「上昇」超17.1%に対し、今回調査（令和5年10月～12月期）では、「上昇」超14.9%と2.2ポイント上昇超幅が縮小した。

業種別では、製造業、卸売業、サービス業、不動産業は上昇、小売業、建設業は下降となった。

先行き（令和6年1月～3月期）は、卸売業、サービス業、建設業は上昇、製造業、小売業、不動産業は下降を見込まれていることから、業種全体では「上昇」超13.4%と販売・請負価格の上昇を見込まれている企業がわずかに減少している。

▶ 原材料・仕入れ価格

原材料・仕入れ価格の業種別 DI の推移



原材料・仕入れ価格は、業種全体で前回調査（令和5年7月～9月期）の「上昇」超40.4%に対し、今回調査（令和5年10月～12月期）では、「上昇」超36.3%と4.1ポイント上昇超幅が縮小した。

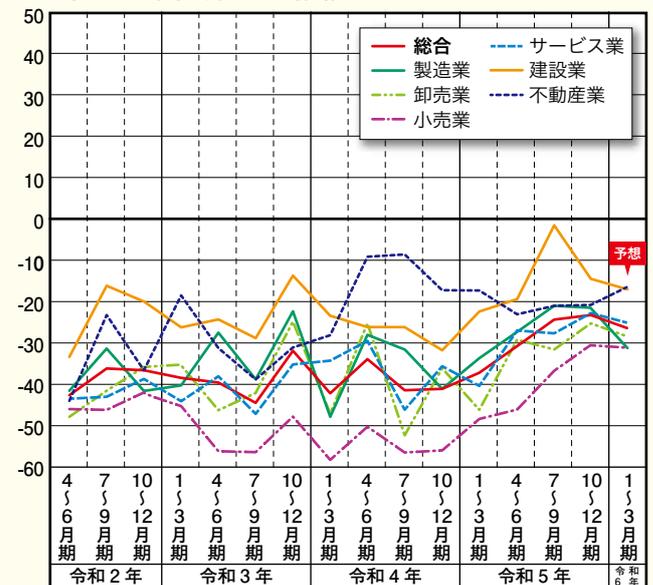
先行き（令和6年1月～3月期）は、業種全体で「上昇」超29.2%と原材料・仕入れ価格の上昇を見込まれている企業が減少している。

▶ 収益

収益は、業種全体で前回調査（令和5年7月～9月期）の「減少」超24.7%に対し、今回調査（令和5年10月～12月期）では、「減少」超23.3%と1.4ポイント減少超幅が縮小した。

業種別に前回調査（令和5年7月～9月期）と今回調査（令和5年10月～12月期）を比較すると、製造業、不動産業は前回調査と同数、卸売業、小売業、サービス業は減少超幅が縮小、建設業は減少超幅が拡大した。先行き（令和6年1月～3月期）は、業種全体で「減少」超26.6%と、収益の減少を見込まれている企業がやや増加している。

収益の業種別 DI の推移



▶ 在庫

在庫の状況は、業種全体で前回調査（令和5年7月～9月期）の「不足」超2.5%に対し、今回調査（令和5年10月～12月期）では、「不足」超3.1%と0.6ポイント不足超幅が拡大した。

先行き（令和6年1月～3月期）は、卸売業は今回調査と同数、製造業は不足超幅が縮小、小売業、建設業、不動産業は不足超幅が拡大することから、業種全体で「不足」超6.0%が見込まれている。

▶ 資金繰り

資金繰りは、引き続きすべての業種で「苦しい」超となっており、業種全体でも「苦しい」超17.2%となった。

先行き（令和6年1月～3月期）も、すべての業種で「苦しい」超としており、業種全体で「苦しい」超20.0%となり、資金繰りは、今後も厳しい状況が続くものと思われる。

▶ 金融機関借入れ状況

金融機関からの借入れ状況は、全体の87.8%の企業が「借入れしない」とした。

今後の借入れ予定についても、すべての業種で「借入れの予定なし」とした企業が「借入れの予定あり」とした企業を上回っており、全体の94.7%の企業が「借入れの予定なし」としている。

また、金融機関からの借り入れ難易度は、「難しい」・「該当なし」とする企業の割合が前回調査（令和5年7月～9月期）の88.1%に対し、今回調査（令和5年10月～12月期）でも、89.3%となり、借り入れは行わないとする考え方は、依然として変わっていない。

▶ 設備の状況

設備の状況は、9割の企業（令和5年10月～12月期89.5%、令和6年1月～3月期予想90.0%）が「適正」とした。

なお、「適正」以外の回答をみると、今回調査（令和5年10月～12月期）でも、全ての業種で「不足」・「やや不足」とする企業が「過剰」・「やや過剰」とする企業を上回ったことから、業種全体で「不足」超8.4%と前回調査と同様「不足」超の状況となった。

設備投資の実施・予定

上段：先数
下段：比率（%）

業種	令和5年10月～12月期							令和6年1月～3月期							
	土地・建物	機械・新增	機械・更改	事務機器	車	両	その他	実施しない	土地・建物	機械・新增	機械・更改	事務機器	車	両	その他
総合	4	22	7	22	9	3	312	2	14	8	26	11	1	317	
	1.1	5.8	1.8	5.8	2.4	0.8	82.3	0.5	3.7	2.1	6.9	2.9	0.3	83.6	
製造業	2	11	3	6	5	0	59	2	5	1	7	4	0	62	
	2.3	12.8	3.5	7.0	5.8	0.0	68.6	2.5	6.2	1.2	8.6	4.9	0.0	76.6	
卸売業	0	1	0	3	0	0	28	0	1	0	1	1	0	29	
	0.0	3.1	0.0	9.4	0.0	0.0	87.5	0.0	3.1	0.0	3.1	3.1	0.0	90.7	
小売業	1	—	—	8	1	2	102	0	—	—	6	1	1	106	
	0.9	—	—	7.0	0.9	1.8	89.4	0.0	—	—	5.3	0.9	0.9	92.9	
サービス業	1	4	0	2	1	0	68	0	5	5	2	0	0	67	
	1.3	5.3	0.0	2.6	1.3	0.0	89.5	0.0	6.3	6.3	2.5	0.0	0.0	84.9	
建設業	0	6	4	3	2	1	55	0	3	2	10	5	0	53	
	0.0	8.5	5.6	4.2	2.8	1.4	77.5	0.0	4.1	2.7	13.7	6.8	0.0	72.7	

経営上の問題点

（複数回答）

項目	計	業種別					
		製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
売上の停滞・減少	186	33	22	60	30	30	11
同業者間の競争の激化	104	9	8	23	28	24	12
原材料高（材料価格の上昇）	78	28	—	—	18	32	—
人手不足	69	15	1	15	16	20	2
利幅の縮小	54	11	7	22	6	6	2
大手企業（大型店）との競争の激化	45	2	—	19	10	10	4
仕入先からの値上げ要請	41	8	7	26	—	—	—
人件費の増加	34	14	2	4	7	5	2
商圏人口の減少	29	—	—	16	13	—	—
取引先の減少	24	—	7	13	4	—	—
販売商品（商品物件）の不足	15	—	3	7	—	—	5
商店街の集客力の低下	14	—	—	14	—	—	—
その他	99	30	12	16	15	17	9
問題なし	31	7	1	10	6	4	3
合計	823	157	70	245	153	148	50

当面の重点経営施策（経営のポイント）

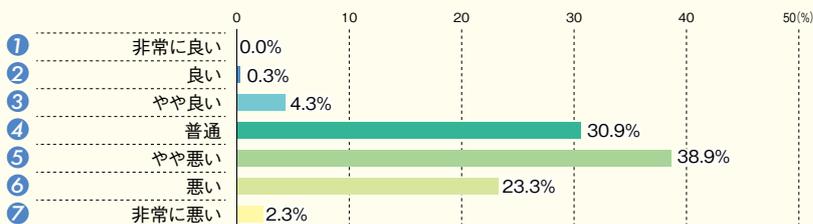
（複数回答）

項目	計	業種別					
		製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
経費を節減する	229	49	21	66	41	43	9
販路を広げる	78	24	14	—	15	20	5
宣伝・広告を強化する	58	—	—	27	21	—	10
人材を確保する	50	15	1	7	12	14	1
情報力を強化する	41	13	8	—	—	12	8
品揃えを改善（充実）する	37	—	9	28	—	—	—
技術力を強化する（高める）	30	—	—	—	13	17	—
提携先を見つける	30	11	7	—	6	—	6
売れ筋商品を取り扱う	24	—	—	24	—	—	—
教育訓練を強化する	16	0	1	1	8	6	0
商店街事業を活性化させる	15	—	—	15	—	—	—
機械化を推進する	13	6	0	3	3	—	1
その他	80	28	3	26	7	11	5
特になし	45	7	2	17	12	5	2
合計	746	153	66	214	138	128	47

特別調査「2024年（令和6年）の経営見通し」

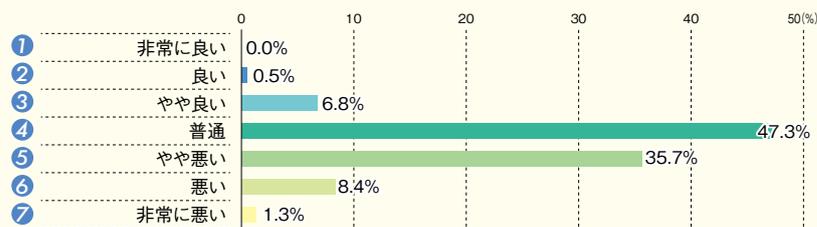
問 1

貴社では、2024年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。



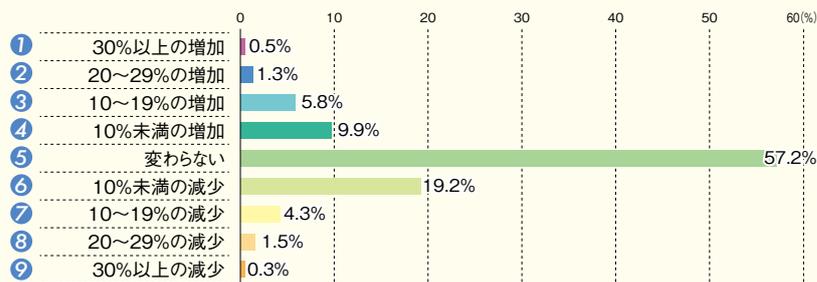
問 2

貴社では、2024年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。



問 3

2024年において貴社の売上額の伸び率は、2023年と比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。



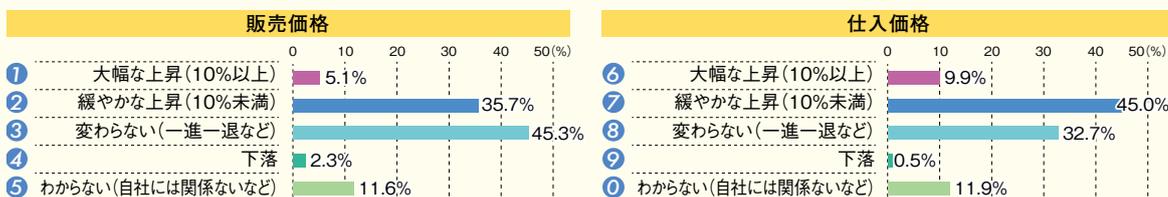
問 4

貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。



問 5

近年、販売価格や仕入価格に上昇の傾向が見られますが、2024年を展望したとき、貴社では価格面の動向をどのように見通していますか。販売価格については1~5から、仕入価格については6~0から、それぞれもっとも当てはまるものを1つずつ選んでお答えください。



企業紹介

public relations

エーデックス (株)



代表取締役 富澤 敦夫

住 所: 979-3131 いわき市平赤井字畑子沢1-67
電話番号: 0246-88-8445
営業時間: 午前8時～午後5時
休 日: 土曜・日曜日・祝日



当社は2016(平成28)年7月、金属加工業として操業を開始しました。取り扱い商品は、チタンやタングステンなどの超鋼材を加工した切削用チップで、切削工具に取り付ける刃の部分にあたります。大きさは数ミリから数センチ、形も材質もさまざまです。

切削工具の研磨用チップは、大手メーカーが販売する汎用製品が使われることが多いのですが、それを使う会社や工場によって、切削条件は千差万別です。そのため、カタログから最適なチップを選ぶことは難しく、切削行程には困難を抱えやすいので、当社ではお客様の要望や問題点を詳しくお聞きし、最適な工具を製作、提供する方法で差別化を図り、お客様との信頼関係の構築に努めております。

昨今のウクライナ情勢や原材料の価格高騰は当社にも大きな影響を与えておりますが、大手メーカーでは対応しないチップの再研磨や改良等の事業を新たに展開。また、被災した地域の復旧、復興事業にも貢献しております。



【編集室から】

同社が提供するのの特注品。取引先のニーズを正確に捉え、設計から製作まで一貫して対応している。最適な切削が可能になったことで、チップの寿命が従来の8倍に達した取引先もある。耐用期間の伸びは作業効率に大きく影響し、生産性向上にも寄与している。

通常1%でも良いとされるチップの不良率は、0.03%と極めて低い水準を実現。年間4万～5万個を生産し、東北、北関東、関東の一部にも販路を広げている。チップの再研磨や改良も新事業として展開しており、取引先のコスト削減、資源保護につなげている。社員数は5人。全員が熟練者で「少数精鋭」。

地域貢献として、「いわき万本桜プロジェクト」の取り組みなどに協賛している。

市内の 観光歴史めぐり



(所在地：いわき市平新田目字甲塚)



車：いわき四倉 IC から約 18 分

甲塚古墳 (かぶとづかこふん)

いわき市には、多くの観光歴史名所があります。「市内の観光歴史めぐり」として、甲塚古墳を紹介します。

甲塚古墳は、夏井川河口に近い沖積地(ちゅうせきち)に築造された直径37m、高さ約8.2mの円墳です。未調査のため内部構造や築造年代は明らかではありませんが、古墳時代後期の6世紀後半から7世紀後半にかけて造られたと推定されています。

兜を伏せたのに似ていることから「甲塚」と呼ばれています。

かつてクロマツの巨木が墳丘を覆い、どの方向からみても同じに見えるところから「八方にらみの松」といわれ、堂々として、水田に映る姿は見事でありましたが、現在は枯れはててしまい、墳丘だけが孤立しています。

国道6号常磐バイパス工事に伴う発掘調査で、9基の古墳跡等から土師器(はじき)、円筒埴輪(えんとうはにわ)、木器(もつき)など、豊富な遺物が掘り出されています。

付近には奈良時代の廃寺跡や延喜式内社大國魂神社があり、古代磐城地方の政治・文化の中心地であったことを想定させるものがあります。

本古墳は大正12年3月7日、国の史跡に指定されました。

column 向日葵

日本銀行福島支店は、2024年1月に公表した2023年12月分の福島県金融経済概況で、県内景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、着実に持ち直している。住宅投資は、下げ止まりつつある。設備投資は、コロナ禍で見送られた投資や能力増強投資がみられており、緩やかに持ち直している。公共投資は、減少していると公表されております。

一方、当金庫の令和5年10月～12月期の中小企業景気動向調査の業況をみると、いわき市全域では、前回調査(令和5年7月～9月期)と比較し、業種全体で改善していますが、先行きは悪化する見通しとなっています。なお、資金繰りについては、依然としてすべての業種で「苦しい」超となっており、先行きもすべての業種で「苦しい」超となっています。

当金庫は、今後もお客様の様々な課題解決のお手伝いをさせていただくため、お客様に寄り添い、積極的にかつ迅速に取り組んで参ります。

発行／ひまわり信用金庫

〒970-8026 いわき市平字二町目10

編集／総務部 総務グループ TEL.0246-23-8500

☞ <http://www.shinkin.co.jp/himawari/>

▶『とっかけ』とは 「始める」「取りかかる」という意味のいわき地方の方言です。この情報を、何かを始めようとする時のきっかけ、取っかかりにして頂ければ幸いです。